

第12回日本臨床検査医学会特別例会
(第31回日本医学会総会 分科会)
(第78回日本臨床検査医学会 関東・甲信越支部 例会)

会 期：2023年4月22日(土) 9:00～17:00
会 場：大手町サンケイプラザ 3F「301+302+303」
(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル)
特別例会長：古川 泰司(帝京大学医学部臨床検査医学 教授
/帝京大学医学部附属病院中央検査部 部長)
開催形式：ハイブリッド開催(現地、オンデマンド配信)
(オンデマンド配信期間：2023/4/27(木)～5/31(水))
URL：<https://medicalprime.jp/event/tokurei12/>
参加費：4,000円(日本臨床検査医学会 会員・非会員共)
テーマ：「臨床検査の未来を担う基盤と人～SDGs 3, 8, 9～」

プログラム

開会の辞 9:35～

シンポジウム1 9:40～11:40

【ビッグデータとしての臨床検査情報 HL7 FHIR とその展開】

企 画：統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会
司 会：湯地晃一郎(東京大学医科学研究所) / 田部陽子(順天堂大学)

1. 湯地晃一郎(東京大学医科学研究所)
「臨床検査の利活用に向けて - PHR/EHR の共通基盤」
2. 竹内 公一(千葉大学医学部附属病院)
「臨床検査情報共有の実際 EHR と PHR の使い分け」
3. 小林 慎治(国立保健医療科学院)
「医療情報標準化のあゆみ」
4. 木村 映善(愛媛大学医学部附属病院)
「HL7 FHIR JP について」

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための
共通講習「必修講習 B：医療経済」2単位に認定されています。

特別例会長講演 11:50～12:20

座 長：横山 直之(帝京大学)

「臨床検査としての生理機能検査と精度管理 -12誘導心電図を中心に-」
演 者：古川 泰司(帝京大学)

ランチョンセミナー（シスメックス（株）共催） 12:30～13:30

座長：古川 泰司（帝京大学）

「マルチプレックス検査時代の臨床検査」

演者：越智 小枝（東京慈恵会医科大学）

特別講演 13:40～14:40

座長 大西 宏明（杏林大学）

「国際標準規格 ISO 15189 改定」

演者：宮地 勇人（新渡戸文化学園）

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための「臨床検査領域講習」1単位に認定されています。

シンポジウム2 14:50～16:50

[タスクシフト/シェアと医療安全]

企画：医療安全委員会

司会：森兼 啓太（山形大学）／三枝 淳（神戸大学）

1. 森兼 啓太（山形大学医学部附属病院）
「医師の働き方改革とタスクシフト/タスクシェア」
2. 井本 寛子（日本看護協会）
「看護師の立場から」
3. 益田 泰蔵（独立行政法人国立病院機構 東京医療センター）
「臨床検査技師の立場から」

※ 本企画は、日本専門医機構認定 基本領域 臨床検査専門医更新のための共通講習「必修講習 A：医療安全」2単位に認定されています。

閉会の辞 16:50

【事務局】 帝京大学医学部臨床検査医学、附属病院検査部
横山 直之（臨床検査医学）
奥藤由紀子（検査部臨床検査技師長）
〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL 03-3964-7272 FAX : 03-3964-7229
E-mail: labomed@med.teikyo-u.ac.jp